

各 位

2013年7月17日  
株式会社イオンファンタジー  
代表取締役社長 片岡 尚  
(コード番号 4343 )  
管理統括広報・IR室長 菅原 裕之  
(電話 043-212-6203)

## 2014年2月期 6月度の営業概況

### 1. 業績の進捗

6月度(2013年6月1日～2013年6月30日)の国内単体の営業収益は33億39百万円、前期比114.3%となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

### 2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

<国内単体>

(単位：%)

	6月度		当期累計(3月度～6月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	110.9	105.7	101.4	99.3
商品売上	125.1	139.0	124.9	124.6
遊戯施設売上計	114.3	112.8	106.7	104.9
売上高合計	114.3	112.7	106.7	104.9

※決算期変更にともない、今期の6月度売上高全店伸び率は2012年5月21日～2012年6月20日と対比しています。

既存店伸び率の前期期間は今期にあわせて6月1日から6月30日で対比しています。なお、既存店伸び率は前期に対し、金曜日が減少し日曜日が増加しており、その影響は6.8%の増加となります。

### 3. 営業の概況

6月度は、例年天候要因で客数が影響を受けやすいため(週末好天の場合客数が減少)、14日(金)から16日(日)の集客催事として「いつもの2倍楽しい3日間」を実施するなど、遊戯機械売上の底上げを行いました。その結果、第1四半期累計期間(3月度～5月度)の遊戯機械既存店売上伸び率97.5%に対し、6月度遊戯機械売上の既存店伸び率は105.7%(曜日調整後98.9%)と改善してまいりました。なかでもメダルグループは第1四半期96.9%に対し101.9%となり、粗利益の改善に寄与いたしました。また、カードゲームは依然として好調に推移しており、第1四半期のトレンドをさらに上回る既存店伸び率134.0%と大幅な伸びとなりました。

以上の結果、6月売上高は計画を上回るとともに利益面においても昨年実績を上回ることになる見通しです。

### 4. 出退店の状況

今期(2013年3月1日～2013年6月30日)は春日部店、つくば店、新潟青山店、東久留米店、大阪ドーム店が開店しました。(すべてモーリーファンタジー)

※2013年6月度末国内店舗数：321店舗

以上